

1/01 Inkscape とは

1 Inkscape の概要

Inkscape (インクスケープ) はオープンソースで開発されているベクター画像編集ソフトウェア (ドローソフト) です。Inkscape は 2003 年にベクター画像編集ソフト Sodipodi からのフォークとしてスタートしました。Inkscape は現状でも幅広く利用されていますが、今後さらに SVG、CSS の標準への準



拠を完全にしていくことが可能で、それには SVG アニメーションの対応も含まれています。現在も活発に開発中であり新しい機能が定期的に加えられています。

2 Inkscape の特徴

(1) Inkscape はベクターグラフィックソフトと呼ばれている、輪郭のくっきりした画像を扱うことが得意な画像編集ソフトの 1 つです。有料の Adobe Illustrator と比較される事が多いのですが、GNU ライセンスでフリーソフトとして提供されているので、誰でもパソコンがあれば、自由にダウンロードして利用することができます。

☆ ベクター画像とラスター画像

画像ファイルには大きく分けて「ベクター画像」と「ラスター画像」の 2 種類があります。ベクター画像は線や面を使った画像形式であり、ラスター画像 (ビットマップ画像) は多数の点が集合した画像形式といわれます。2 つの画像形式の一番の違いは、拡大表示したときに画質の劣化があるかないかです。ラスター画像は拡大するとギザギザしますが、ベクター画像は拡大してもギザギザしません。

☆ SVG とは

Inkscape で主に扱う画像形式は SVG 形式です。SVG 形式とは「Scalable Vector Graphics (スケーラブル・ベクター・グラフィックス)」の略称で、ベクター画像の中でも W3C※という団体がウェブ上での標準規格として開発した画像形式です。Inkscape ではこのほかにも AI 形式などの他のベクター画像を取り扱うことができます。

(2) Inkscape が得意なこと・苦手なこと

Inkscape はベクター画像を取り扱うので、輪郭線がはっきりとした画像を作ったり、正確に配置したりすることが得意です。一言で言えば、図形やテキストを作って配置する製図ソフトのようなものです。そのため、ロゴやアイコンの作成・イラストのデジタル化・チラシやフライヤーなどのレイアウト編集が得意です。

逆に写真をレタッチ（加工）することは苦手としています。というのも、写真がもともとラスター画像なので、扱うデータとしては不適切です。写真の合成や加工をしたいときは GIMP を使う方が適しています。